

清和小学校

令和5年度 学校経営の改革方針

学校教育目標	めざす学校像	経営方針	達成方策	具体化
<p>自ら学び、ともに考えようとする子どもの育成</p> <p>めざす子ども像 ・自ら考え、学び、行動する子ども ・ともに考え、高め合う子ども ・人とのつながりを大切に子ども</p>	<p>児童が主体的・協働的に学び活動する学校</p>	<p>(1) 子ども同士がつながり、秩序があり安心できる仲間づくりをする。</p>	自己肯定感の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがつながり認め合う機会を意図的に作る。</li> <li>達成感のある活動をさせる。</li> <li>ほめられる機会をつくる。(友だちから、大人から)</li> <li>自分の思いを伝える力をつける。</li> </ul>
			正しい児童理解と適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害、愛着障害の理解と対応の研修</li> <li>支援、相談体制の確立</li> </ul>
			不登校対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内委員会の設置</li> <li>児童生徒理解支援シートの活用</li> <li>不登校対応及び不登校を生まないための研修</li> <li>外部関係機関との連携</li> </ul>
			規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自律の力を高める。</li> <li>教職員の一貫した日常的指導</li> <li>生指案件の適切な指導と組織対応</li> <li>教職員、保護者の徹底したいじめを許さない意識</li> <li>児童主体の啓発活動</li> <li>情報モラルの授業</li> </ul>
			人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動できる力を育成する。</li> <li>コミュニケーションを大切にした仲間づくり(視点児童を中心として)</li> <li>教職員の人権感覚を磨く。</li> </ul>
		<p>(2) 学力向上をめざし、主体的・対話的な学び方の授業を創造する。</p>	授業の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に学び仲間とともに考える、よりよい授業に改善する。</li> <li>研究授業で課題を明らかにし、次の研究授業に向けて改善し検証する。</li> <li>対話的な学びができたかの「ふりかえり」(友だちから学んだこと、見つけた良さ)</li> </ul>
			全学年で積み上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>学調の結果から明らかになった課題を、系統的かつ教科横断的に全学年で積み上げを図る。</li> <li>R6.1月のみえスタ、4月の学調とみえスタでは、国と県の平均より5ポイント上を目標とする。</li> <li>基礎学力の課題を明らかにし、方策を練る。</li> <li>朝の学習(15分)の活用</li> <li>C層、D層への補充学習</li> <li>日常的な体力向上の取組</li> </ul>
			家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着</li> <li>自主学習で計画的に学習に向かう力の育成</li> <li>端末の有効活用</li> </ul>
			外国人児童の日本語能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々に付けたい力の明確化</li> <li>担任と日本語指導担当の連携</li> </ul>
	<p>家庭、地域と協働して子どもを育む、地域とともにある学校</p>	<p>(3) 地域・家庭とともに教育活動を進める。</p>	保護者・地域との信頼関係の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>迅速、丁寧な保護者対応</li> <li>児童の様子や学校の取組の情報公開</li> <li>危機・健康・安全管理の徹底</li> </ul>
			学校運営協議会との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域人材を活用した地域学習</li> <li>学校支援ボランティアとの対話の機会をもつ。</li> </ul>
			家庭との連携によるスクリーンタイム、家庭学習、読書時間の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりでの啓発</li> <li>授業参観時に啓発メッセージの放送</li> <li>PTAからの啓発・研修会</li> <li>家庭学習、ノーマディア習慣の取組シートを工夫し、保護者の関心を高める。</li> <li>家族での読書週間の設定</li> </ul>
			ICTの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業でより質の高い端末活用</li> <li>家庭学習で授業とリンクしたより質の高い学び</li> <li>教師の活用力UP</li> </ul>
			読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書意欲を高めるような取組と環境の工夫</li> <li>図書を活用</li> </ul>
	<p>すべての教職員が働きがい、生きがいのある学校</p>	<p>(4) 教職員が向上心をもって役割を担い、組織的に連携する。</p>	校務分掌の平準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務分掌を担当することで、力と自信をつける。</li> <li>二部会でサポートし、若手を育てる。</li> </ul>
			組織力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>相担と担当者への報告、相談。管理職への報告</li> <li>勝手にしない</li> <li>個人任せにしない。</li> <li>全職員(全職種)で課題を共有</li> <li>取組の定期的な振り返りと改善(PDCAサイクル)</li> </ul>
			企画委員会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の課題を見抜く。</li> <li>課題解決のための先導</li> </ul>
			コンプライアンス意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事案を自分事として捉える。(コンプライアンスミーティング)</li> <li>職場の力で不祥事を防ぐ意識(会話を増やすことでストレスの感知と解消)</li> </ul>
ワークライフバランスの意識向上			<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の勤務時間の把握と時間外勤務時間の自己管理(月30h以下、月45h超0人、年間360h超0人)</li> <li>年休、特休の積極的取得(年間22日以上100%)</li> <li>自分磨きとリフレッシュの時間を大切にする。(定時退校:月2日以上100%)</li> <li>行事や取組の実施方法の見直しを常に意識する。</li> <li>会議時間の短縮(60分以内100%)</li> </ul>	